

議会報告会結果報告書

開催日時	令和2年2月8日(土) 10:30~12:00
開催場所	相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 中ホール
出席議員	全議員
欠席議員	なし
参加者	45名

○	第1部 決算審査特別委員会報告	報告者	森下
		記録者	前川
	第1部 総務文教常任委員会報告	報告者	宮艸
		記録者	後田
	第1部 民生建設常任委員会報告	報告者	中野
		記録者	角石
	第2部 意見交換	報告者	三浦
		記録者	森下、中野、前川、大川

議会からの報告事項

報告者から、資料により報告した。

【主な質疑】

特にありませんでした。

議会報告会結果報告書

開催日時	令和2年2月8日(土) 10:30~12:00
開催場所	相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 中ホール
出席議員	全議員
欠席議員	なし
参加者	45名

	第1部 決算審査特別委員会報告	報告者	森下
		記録者	前川
○	第1部 総務文教常任委員会報告	報告者	宮艸
		記録者	後田
	第1部 民生建設常任委員会報告	報告者	中野
		記録者	角石
	第2部 意見交換	報告者	三浦
		記録者	森下、中野、前川、大川

議会からの報告事項

報告者から、資料により報告した。

【主な質疑】

特にありませんでした。

議会報告会結果報告書

開催日時	令和2年2月8日(土) 10:30~12:00
開催場所	相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 中ホール
出席議員	全議員
欠席議員	なし
参加者	45名

	第1部 決算審査特別委員会報告	報告者	森下
		記録者	前川
	第1部 総務文教常任委員会報告	報告者	宮艸
		記録者	後田
○	第1部 民生建設常任委員会報告	報告者	中野
		記録者	角石
	第2部 意見交換	報告者	三浦
		記録者	森下、中野、前川、大川

議会からの報告事項

報告者から、資料により報告した。

【主な質疑】

特にありませんでした。

議会報告会結果報告書

開催日時	令和2年2月8日（土） 10:30～12:00
開催場所	相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 中ホール
出席議員	全議員
欠席議員	なし
参加者	45名

	第1部 決算審査特別委員会報告	報告者	森下
		記録者	前川
	第1部 総務文教常任委員会報告	報告者	宮艸
		記録者	後田
	第1部 民生建設常任委員会報告	報告者	中野
		記録者	角石
○	第2部 意見交換	報告者	三浦
		記録者	森下、中野、前川、大川

【主な質疑】

- Q1 議案議決結果を見ていると、全会一致や賛成多数の場合がある。特に予算決算だが、主に一人の議員の方が反対をされているが、その方がどういう理由で反対されているのか、それが妥当なものなのか等、その方の意見をしっかり聞いているのか。反対意見も尊重する審議をしていただきたい。
- A1 議案審議の中では、党や会派、個人の考えによって、様々な意見が出される。なお、本会議や委員会の採決の前には反対理由を述べる反対討論の機会もある。
- Q2 ① 感染症対策（新型コロナウイルス）について、マスコミでは、症状が出れば、すぐ保健所へ連絡するよう報道しているが、熱が出た程度でも、保健所へ連絡する必要があるのか。また、ノロウイルスの場合はどうか。保健所への連絡は。
- ② インフルエンザの予防接種費用に対して、高齢者には補助があるが、幼稚園児や小学生への補助は無いと聞いている。無いとすれば、考える余地があるのではないのか。
- ③ 相生市民病院は毎年赤字が続いている。このままの状態では本当に継続できるのか。
- ④ 働き方改革として、民間企業では有給休暇の確実な取得や残業を減らす等、数値を掲げて取り組んでいる。一方、市役所では、庁舎の電気が夜遅くまで付いている。

働き方改革を実現するために、どのように取り組んでいるのか。

- A 2 ① 感染症対策（新型コロナウイルス）について、相生市では1月30日付で市ホームページに当該対策について掲載している。ご心配があれば、赤穂保健所（赤穂健康福祉事務所）に相談し、医療機関を受診してもらいたい。また、市役所の出入口に消毒液を設置し、学校でも手洗いを励行するよう消毒液を設置している。
- ① ノロウイルスは医師が診断しないと、感染したかどうか分からないので、医療機関を受診してほしい。なお、施設（保育所等）では複数の感染者の発生については保健所へ報告している。
- ② インフルエンザの予防接種費用に対する補助については、予算が伴うものなので即答できないが、担当課へ要望する。
- ③ 相生市民病院は赤字経営が続いているが、訪問看護、訪問診療、患者無料送迎サービス等、市民のニーズを踏まえた取り組みも行っている。また、今年度からリハビリ機能を備えた地域包括ケア病床を導入し経営改善を目指している。年間3千万円程度の効果があると聞いており、議会も十分チェックしていきたい。
- ④ 働き方改革について、市職員の仕事は、あくまで適正な人員で適正な仕事量でなければならぬが、現状は人数的にも厳しい状況であることは間違いない。残業の状況も含めて、議会としても考えていきたい。
- Q 3 ① 危機管理について、要援護者名簿は数年前から各单位自治会に配られているが、個別支援計画の作成が進んでいない。佐方地区でも個別支援計画のデータ化を市危機管理課と一緒に検討を行ったが、市内には大変多くの要援護者がおられる。早急にデータ化が進むよう働きかけをぜひやっていただきたい。
- ② 矢野小学校、若狭野小学校の統合について、経費削減の面からも長い目で見れば、統合が望ましいと考えている市民も多いと思うが、地域の議員の方は積極的に住民への説得等、努力をされているのか。
- A 3 ① 個別支援計画の早期作成については、兵庫県議会とも協議をもつ機会があり、意見交換を行っている。相生市内においては、地域によっては自治会の方やケアマネジャー等にもご協力いただいて個別支援計画を立てたという事例も伺っている。市全体では、約千人の方の計画を作成しなければならないが、市危機管理課としても、この取り組みを拡げていきたいと考えている。
- なお、作成にあたって、ケアマネジャー等の方に加わってもらう場合、それに伴う費用が発生する。国の財政措置が必要ではないかと、兵庫県も国の方に要望を検討されているところであり、早期作成に向け取り組んでいるところである。
- ② 学校統合については、経費面も大切なことだと思うが、子どものこと、地域のことであるので、地元の合意ということが必要と個人的には思っている。
- みんなが忘れていくのではなく、私自身もよくご意見を伺い、ご質問も頂戴する。

地域としての方向性等が定まるようであれば、教育委員会に相談させていただくような形になるかと思うが、今のところは地域の方等のご意見を伺いながら、一緒に考えている状況である。

- ② 当初、教育委員会が矢野、若狭野の両連合自治会と決めた名前が、若狭野矢野小学校という統合名で、それに対して、矢野の方は幼稚園も中学校も矢野川幼稚園、矢野川中学校という中で、小学校だけ若狭野矢野小学校というのは、どういうことなのかと、矢野川小学校にしてほしいということで請願を出し、その結果、両連合自治会ともに平行線をたどり現在に至っている。

私も両連合自治会等とも話しているが、両連合自治会とも統合してほしいという声をずっと出している。PTAは最初の頃と今とでは様子が変わっているが、両連合自治会については、雰囲気としては早く統合してほしいと考えている。私も教育委員会等へ何度も足を運び、議会としても、何人かの議員さんが統合はどうなっているのかと一般質問をされておられる。教育委員会は両地元の意思が固まっておらず凍結であると、回答している。

ご意見

- ② 学校名の問題であれば、それがうまくいけば統合できるのではないかと考える。市連合自治会としても積極的に動くこともできるので、議員の皆さんに援護射撃をいただければ実現するんじゃないかと思えます。
- ② 校名にこだわって、統合できないのであれば、子どもの教育のためにならない。広い立場から子どものことを考えれば、学校の名称にこだわる必要はないというふうに思う。
- ② 教育の問題は相生市全体としての問題である。議員の皆さんは教育に関して、10年先、20年先をどうするか、若狭野や矢野の問題としてではなく、市側に働きかけていってほしいと思います。

まとめ

- ② 地域の皆様のそれぞれの事情、感情、子どもさんの状況、そのことも踏まえ、総合的に判断していけたらなと考えていますので、どうかご理解願います。

そして、少子化に向かって、今後どうするんだと、将来の展望を図っていかなければならないというところに立っておりますので、今日いただいた貴重なご意見を議員全員が努力していきたいと思えます。

- Q4 市議会議員のうち、現在女性は一人いらっしゃるが、4人か5人の女性枠を設定してはどうか。男女協働参画社会を進めていく中で、女性の意見がたくさん出ないと今の様々な問題は解決しない。

A 4 女性枠ということで、クォータ制や外国の制度のことであると思うが、法律が関係する。国会では各政党から候補者の内、女性の数を何人にしなさいという努力義務の法律はできたかと思う。

女性が進出しづらいのは、選挙という制度がダメなのか、議会という環境がダメなのか、いろいろ考えるが、私自身としては、女性が立候補しやすい環境整備に努めていきたい。この議会報告会も議会改革の一環だが、女性が働きやすい議会となるよう努力していきたい。

Q 5 旭地区でも夜になると、猪が闊歩している。放置せず、対策を考えてほしい。

高取峠には赤穂市がトンネル化の実現に向けた看板を設置しているが、相生市はどう対応するのか。トンネルができれば、赤穂より西に住まわれている方が相生市へ今まで以上にいらっしゃる可能性がある。早く対応してほしい。

A 5 イノシシの住宅地付近への出没、また田畑への侵入に伴う農作物被害の対策については、猟友会や地元住民の方々との連携のもと、捕獲や追い払いの推進に取り組んでいる。

捕獲にあたっては、猟友会が中心であるが、高齢化や後継者が増えていない状況から、市は狩猟免許取得の手数料等へ助成を行い、ハンター育成に取り組んでいる。

また、地元には人的被害を防ぐため、隠れ場になるようなところの草刈りや餌場となる不要な果樹等を放置しないといった取組みをお願いしているところである。

しかしながら、市内全域で被害低減が進んでいるとは言えず、引き続き捕獲活動の一体的な推進が必要と考えている。

高取峠については、平成27年度に相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会を立ち上げ、トンネル化の協議を行っている。相生市議会からも議長をはじめ、4名が委員として協議会に参加し、毎年相生市と赤穂市で県へ要望している状況である。

